

研究教育業績（2014-2018 年度）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Kajiyama T., Arai K., Ohmuro S., Maruyama T., Shimose C., Makino S., Takase S., Kokusen H., Adsorption of rare-earth metal ions on natural banana fiber, *Journal of Ion Exchange*, **29**, 116-120 (2018).
- 2) Yamamoto K., Mitsuda S., Ohtake N., Murashige N., Ohmuro S., Yuchi A., Perchlorate Selectivity of Anion Exchange Resin as Evaluated using Ion-Selective Electrodes, *Anal. Sci.*, **33**(2), 159-163 (2017).
- 3) Kajiyama T., Sakai S., Inoue J., Ohmuro S., Arai K., Kokusen H., Synthesis of a metal ion adsorbent from banana fibers and its adsorption properties for rare metal ions, *J. Ion Exchange*, **27**(3), 57-62 (2016).
- 4) Ohmuro S., Fujii K., Yasui T., Takada K., Yuchi A., Kokusen H., Enhanced retention of chelating reagents in octadecylsilyl silica phase by interaction with residual silanol groups in solid phase extraction of divalent metal ions, *Anal. Sci.*, **32**(3), 343-347 (2016).
- 5) Ohmuro S., Kishi H., Yoshihara N., Kokusen H., Liquid-liquid extraction of divalent transition metal ions with a novel bis- β -ketoester extraction reagent, *Talanta*, **128**, 102-108 (2014).

[総説]

なし

[著書]

なし

[その他]

- 1) 高瀬周平, 牧野里美, 大室智史, 小坂知己, 國仙久雄, 化学論文の理解度と小中学校の理科実践指導案作成スキルの向上効果, *東京学芸大学紀要 自然科学系*, **69**, 37-44 (2017).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Kajiyama T., Moriai T., Yoshihara N., Makino S., Takase S., Ohmuro S., Kokusen H., Solvent Extraction of Lanthanide Ions with a Hexane-1,6-diylbis (4,4,4-trifluoro-3-oxobutanoate) into Chloroform, 7th International Conference on Ion Exchange, September, Indonesia (2018).
- 2) Kokusen H., Ohmuro S., Hashiguchi K., Kajiyama T., Yoshihara N., Solvent extraction of rare earth metal ions using hexane-1,6-diyl bis(4,4,4-trifluoro-3-oxobutanoate) into chloroform. Rare Earths 2016-Sapporo, Sapporo, June, 2016.

[国内学会]

- 1) 塚本将史, 柳一郎, 大室智史, 前田友梨, 安井孝, 高田主岳, 湯地昭夫, 固相抽出における残留農薬成分の保持に対する ODS シリカの性能評価, 日本分析化学会第 66 年会, 東京, 9 月 (2017).
- 2) 那須静香, 牧野弘典, 大室智史, 前田友梨, 安井孝, 高田主岳, 湯地昭夫, 非エンドキャップ型 ODS シリカを用いた固相抽出におけるアセチルアセトンとその金属錯体の保持, 日本分析化学会第 66 年会, 東京, 9 月 (2017).
- 3) 那須静香, 大室智史, 塚本将史, 石崎理, 安井孝志, 高田主岳, 湯地昭夫, ODS シリカを用いた固相抽出法における残存シラノール基の役割, 第 35 回溶媒抽出討論会, 茨城, 11 月 (2016).
- 4) 大室智史, 塚本将史, 那須静香, 安井孝志, 高田主岳, 湯地昭夫, 固相抽出法に適した ODS シリカの設計指針, 日本分析化学会第 65 年会, 北海道, 9 月 (2016).
- 5) 那須静香, 大室智史, 安井孝志, 高田主岳, 湯地昭夫, ODS を用いた固相抽出法における残存シラノール基への含酸素化合物の吸着, 第 76 回分析化学討論会, 岐阜, 5 月 (2016).
- 6) 大室智史, 石崎理, 安井孝志, 高田主岳, 湯地昭夫, 含窒素化合物の保持に対する ODS の修飾率および細孔径の関係. 第 76 回分析化学討論会, 岐阜, 5 月(2016).
- 7) 大室智史, 山本健二, 安井孝志, 高田主岳, 湯地昭夫, 弱塩基性陰イオン交換樹脂を用いた酸の共吸着に対する内部環境の影響. 日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会, 石川, 10 月 (2015).
- 8) 石崎理, 大室智史, 安井孝志, 湯地昭夫, 含窒素配位子とその錯体の ODS への保持に対する残存シラノール基の影響. 日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会, 石川, 10 月 (2015).
- 9) 那須静香, 石崎理, 大室智史, 湯地昭夫: 固相抽出法における含酸素配位子とその金属錯体の ODS への保持. 日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会, 石川, 10 月 (2015).
- 10) 大室智史, 藤井寛, 安井孝志, 高田主岳, 國仙久雄, 湯地昭夫, 残存シラノール基との相互作用による抽出試薬の保持と二価遷移金属イオンの固相抽出. 日本分析化学会 第 64 年会, 福岡, 9 月 (2015).
- 11) 大室智史, 石崎理, 安井孝志, 高田主岳, 湯地昭夫, 固相抽出における ODS への含窒素化合物の保持機構. 第 75 回分析化学討論会, 山梨, 5 月 (2015).
- 12) 大室智史, 藤井寛, 安井孝志, 國仙久雄, 湯地昭夫, 非エンドキャップ型 ODS による化学種の保持挙動. 第 45 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 愛知, 11 月 (2014).
- 13) 大室智史, 山本健二, 安井孝志, 高田主岳, 湯地昭夫, 弱塩基性陰イオン交換樹脂の性能に対する交換容量の影響. 日本分析化学会第 63 年会, 広島, 9 月 (2014).

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

平成 30 年度

- 1) 天然医薬品分析実習(3 年)

- 2) 薬学総合演習 IA(4年) 2 コマ
- 3) 薬学総合演習 II(6年) 1 コマ
- 4) 実務事前実習(4年) 9 コマ

後期

- 1) 物理・分析化学実習(2年)
- 2) 薬学総合演習 II(6年) 1 コマ

平成 29 年度

前期

- 1) 応用薬学実習(3年)
- 2) 薬剤師の使命(1年)
- 3) 薬学総合演習 IA(4年) 2 コマ
- 4) 薬学総合演習 II(6年) 1 コマ
- 5) プレ教育(4年) 1 コマ

後期

- 1) 物理・分析化学実習(2年)
- 2) 医療にかかわる生と死の問題(1年)
- 3) 薬学特論 I(1年) 1 コマ
- 4) 薬学総合演習 II(6年) 1 コマ
- 5) 総合実習(4年) 1 コマ

2. その他特筆すべき教育業績